

国土交通省「共創・MaaS 実証プロジェクト」

「交通と観光との共創による北海道 MaaS 構築人材育成事業」の採択について

(公社)北海道観光振興機構、北海道経済連合会、および 11 団体・企業は、国土交通省「共創・MaaS 実証プロジェクト」の採択を受けたので、お知らせします。

令和5年度に、(公社)北海道観光振興機構と北海道経済連合会の 2 者にて実施した北海道 MaaS 構築人材(人財)育成事業を通じて、「MaaS 実装に向けた交通事業者や自治体など関係者間の合意形成上の課題」や「利用者の目線で見たと際の課題」が明確になりました。

令和6年度の本事業においては、交通事業者などの新たな構成員とともに、これらの課題解決に向けた方策の深堀りと幅広い関係者の理解を底上げし、北海道が目指す MaaS のグランドデザイン(GD)を立案し、具体的な方策を取りまとめることにより、今後の北海道MaaSの実証・実装につなげてまいります。

記

1. 実施概要:

【実施主体】

(公社)北海道観光振興機構

以下の共創パートナーと「交通と観光の共創による北海道 MaaS プラットフォーム」として事業に取り組んでまいります。

【共創パートナー】

北海道経済連合会、(一社)北海道商工会議所連合会、(一社)北海道バス協会、北海道旅客鉄道株式会社、北海道エアポート株式会社、全日本空輸株式会社、日本航空株式会社、北海道中央バス株式会社、網走バス株式会社、株式会社じょうてつ、十勝バス株式会社、函館バス株式会社

2. 事業概要:

①北海道が目指す MaaS のあるべき姿(グランドデザイン/GD)を議論し立案することを通じて MaaS の政策設計を担う人材(人財)を育成します。

②道外先行事例の視察で、参加者がデータの利活用状況や、現地の生の声を聴取するフィールドワーク(FW)を実施し、視察先の地元関係者と北海道 MaaS 構築の議論を交わし課題の解決力向上を図ります。

③前年度事業の結果や道内外 MaaS の決済・システム等を整理。また交通関連データの調査結果や有識者からの意見等を還元し、GD 議論およびGDの具体的設計に活用します。

④幅広い関係者に報告する総括セミナーを開催し、「北海道 MaaS の実証・実装に向けた提言」を発表し、関係者の専門的知見の向上と、実装に向けた取り組みを推進します。

3. 期間

2024 年 6 月頃～2025 年 2 月17日まで

<参考>

令和 5 年度「交通と観光との共創による北海道 MaaS 構築人材(人財)育成事業」

実施主体:公益社団法人北海道観光振興機構

共創パートナー:北海道経済連合会

キックオフセミナー

令和5年12月 北海道 Do!MaaS 関係者が参集、活動開始

ワークショップ

MaaS 実装に向けた取り組みを推進する人材（人財）育成

想定したターゲットへのアプローチ方法・カスタマージャーニーにおける課題の抽出などを学んだ。



事例調査

関西 MaaS、東北 MaaS、京丹後ささえあい交通について訪問調査、その他、机上調査にて道外事例調査を実施した



GunMaaS アプリ体験（群馬県）

統括セミナー

令和6年2月 活動報告等を実施

事例調査・フィールドワーク・ワークショップの活動報告などを行い、今後に向けた方向性などについて、7つのポイントにまとめ発表した。

※本プレスリリースは、道政記者クラブ、北海道経済記者クラブにも実施いたします。

<本件に対するお問い合わせ>

HTO(公益社団法人北海道観光振興機構)

プロモーション部 担当部長 高野 t.takano@visithkd.or.jp 観光戦略部 担当部長 三浦
札幌市中央区北3条西7丁目1-1緑苑ビル1F 電話:(011)231-0941

北海道経済連合会

札幌市中央区北1条西3丁目3 札幌 MN ビル8階

地域政策グループ 部長 塩谷 電話:(011)221-6115

産業振興グループ 部長 松島 電話:(011)221-6116